

# かみさと



学校教育目標  
豊かな心もち  
他のために行動できる子  
やさしく かしく  
たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ  
㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより

発行者 校長 梶山 崇

〒339-0006

さいたま市岩槻区上里2丁目2番地

令和3年4月30日(金) 5月号

TEL048-794-2316

## 「変わっていくもの」と「変わらないもの」

校長 梶山 崇

さわやかな風が吹き、とても過ごしやすい5月を迎えました。1年前の5月は臨時休業だったことを考えると学校の教育活動が進められることに喜びを感じます。

さて、新型コロナウイルス感染症により、昨年度以来、学校は多くのことに変更を余儀なくされました。学校の教育活動の中では、これからの時代を見据えた「変わっていくもの」と、時代がどんなに変わっても「変わらないもの」があります。

「変わっていくもの」では、何といたっても令和2年度末、児童生徒に1人1台のタブレット端末がさいたま市教育委員会より貸与され、学校や自宅で使えるようになったことです。6月をめぐりに1年生を除く各学年の児童がタブレット端末を持ち帰って家庭で使えるよう現在、教職員が研修に取り組んだり、子どもたちに指導したりしています。少なくとも子どもたちが家庭で、「スタディエッセンス(令和2年度さいたま市の教職員が分担して作成したオンライン動画)」やミライシードの中の「ドリルパーク」が見られるようにしていきたいと思います。私はいくつかの学級のタブレット端末を使用した授業を見ましたが、タブレット端末の扱いに慣れている子どもたちも多く、頼もしく感じています。

一方では、どんなに社会が変わっても大切にしていきたい「変わらないもの」があります。それはあいさつです。上里小では、平成30年度から「夢に向かって 元気なあいさつ 上里小」を重点目標にしています。あいさつはすべての活動の基本であると私は自負しています。5月の連休明けから令和2年度は実施できなかったあいさつボランティアによるあいさつ運動を始めます。ふだん、子どもたち同士が話をする機会が少なかったとしても、あいさつをきっかけに一言二言言葉を交わせるようになり、なかよくなってほしいとも思っています。

私の朝は子どもたちとのあいさつで始まります。元気にあいさつする子、はにかみながらあいさつする子等さまざまな反応が見られます。時間があるときは長い休み時間や下校時も子どもたちにあいさつをしています。そこで分かったことですが、下校時の子どもたちのあいさつの声は朝よりも元気がよいことがわかりました。子どもたちから元気をもらうこともできます。今後も継続していきたいと思います。

保護者のみなさまも学校へいらしたときに、子どもたちにあいさつをしてください。多くの子どもたちが元気なあいさつを返してくれるものと思います。

「変わっていくもの」と「変わらないもの」両方とも大切に子どもたちをはぐくんでいきたいと思っています。今月も本校の教育活動にご支援をよろしくお願いいたします。